

事業報告書（令和 6 年度）

事業名 健全な親子関係の推進事業

団体名 い ろ は 邑 担当者名 笹 治 英 昭

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

日 時：2025 年 2 月 1 日（土）10：00～12：00

場 所：吉備公民館

対象者：岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む）

人 数：4 人

内 容：磯部晋吾講師を招いて、交流分析という心理学に基づいた人格形成の理論とコミュニケーションの原理と実践法を学び、参加者同士で実践するワークを行い、日常でも双方向のコミュニケーションが良好にできる様に具体的な実践法を体感することで意識に落としこめるような学び合いです。

事業計画書の段階では年 4 回の開催予定であったが、講師との日程調整上の都合及び会場の選定上の折り合いと主催者側の日程がなかなか一致せず年 1 回となりました。

2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

身近な人間関係、とりわけ家庭での親子関係、家族関係が人格形成の基であり人生に多大な影響を及ぼし、あらゆる組織の核となり、社会をつくっていくとの参加者の気づきが意識に落とし込まれていきました。まずは自身の素質や心や意識の傾向性を知り、親子関係、人間関係を見つめ直し、各々の個性が生き生きと輝くよう人間関係・コミュニケーションになっていくように心掛けと行動の変容と、行動による成果が参加者にあったので、互いの人格と成育歴と人生経験を理解し尊重しつつ愛情と信頼の心で結ばれているかどうかを気づきながら人間関係を意識して行動していく連鎖の変容が起きました。

② どのように学び合いを取り入れたか

交流分析という心理学に基づいた人格形成の理論とコミュニケーションの原理を学び、親業の具体的なコミュニケーションの実践法を学び、その場で、各々で実践するワークを行い参加者同士で体感を共有もして、日常で、より良好に双方向のコミュニケーションができる様に具体的な実践法と体感ができて意識に落としこめるような学び合いを取り入れた。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

生命科学、脳科学、心理学の研究実績に基づいた理論や哲学を基にした、日常に実践出来て効果が体感できる具体的なコミュニケーションの実践法や体験学習を提供しました。

わかりやすく知ることによって未解決な問題の根本要因に気づき、解決への行動が起こしやすいので課題の克服や目標達成も容易になっていきました。参加者が自分もやればできる、知って気付けば行動が起こせる、すぐに実践しようとする意識になるよう参加者自らが自発的に行動を起こせるよう、実践の効果が体感できて継続的にも実践できるよう、理論の学びと実践ワークと参加者同士の共有に工夫を行った。

また、各々に対して個人的な対応も行った。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

現在、日本では、人間関係で傷つき心が疲弊し命が危ぶまれるような虐待や様々な事件が起き続け、また、心病む人々、自ら命を絶つ人々が一向に少なくなっていない。しかしながら、災難や苦難に見舞われ生きる望みや意欲を失いかけた時に人間関係によって、物心ともが救われ助けられる命もある日本です。「誰一人取り残さない」で、愛が伝わる人間関係の浸透で全ての人を救う、全ての人を支えになり、すべての人が精神的に豊かに健全に自分らしく生きる幸せを実現する社会になることを目標に掲げて活動しています。

今年度も目標に則り活動し、参加者の人々に、自身の人生や親子関係の見直し、再構築することで、自己理解、他者理解が深めて互いを肯定、尊重し素質を活かし個性が伸びていく良好で上質な人間関係の在り方を届ける事が出来ました。参加者の人々に目的、目標以上の成果を達成できた手応えがあります。

事業承継、経営の安泰、経済発展にも親子関係は最も重要な要因であるとの認識を更に深めることもできました。

成果として、すぐに日常で実践できたので継続力を養っていこうと思えた、また、子育てや人間関係が楽になっていく実感が得られたという声が届けられた。来年度も開催して欲しいとの要望がありました。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

親子関係は虐待・貧困を根絶し、誰もが心理的に安心して平和に暮らせる社会になるように貢献できる要であるとの確証を得たのみならず事業承継や経営にもゆるぎない安泰と根本的な発展を促していけるという確証と確信を得た。ゆえに、人間関係を学ぶという教育・家庭教育の普及こそが持続可能な社会づくりの発展・継続に直に密接に繋がります。

今後は多くの人々、特に企業の経営者、団体の代表者、教育者、子育て世代に広く普及していくことを課題とし、日本から虐待・貧困による社会問題を根絶し豊かな幸せな事業

(様式第8号)

承継・経営と心の通い合う温かい家族関係・親子関係のもと幸せに人生を謳歌できる地域づくり国づくりを展望として活動していき、岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながる核となって尽力してまいります。

